

いちかわ検定（上級） 公式テキスト



令和7年2月17日

市川市経済観光部観光振興課

目次

第1章 市制

第1節	全般	1～10
第2節	地理	11
第3節	市議会	12
第4節	名誉市民・市民栄誉賞	13

第2章 広報・情報・多様性

第1節	広報	14～15
第2節	情報	16
第3節	多様性	17～18

第3章 観光・産業・文化

第1節	観光	19～23
第2節	産業	24～25
第3節	文化	26～36

第4章 子育て・福祉

第1節	健康寿命	37～39
第2節	福祉・保健	40～42
第3節	子育て・教育	43～44

第5章 安心安全なまちづくり

第1節	まちづくり	45～50
第2節	環境	51
第3節	防災・防犯	52～55

※いちかわ検定（上級）は、本テキストから出題されます。

～第1章 市制～

第1節 全般

1.市制の施行

市川市は昭和9年11月3日に市川町、八幡町、中山町及び国分村とが合併し市制を施行した。（千葉県では、千葉市、銚子市について3番目の市、当時の人口は約4万だった。）更に昭和24年11月3日大柏村、昭和30年3月31日行徳町、昭和31年10月1日南行徳町をそれぞれ合併した。



（昭和10年3月16日に完成した市役所旧庁舎）



（昭和40年ごろの市役所本庁舎）



（令和3年1月に全面供用開始した第1庁舎）

～第 1 章 市制～

2. 産業別就業者

市川市の産業別就業者は令和 2 年国勢調査によると第 1 次産業は 1,242 人、第 2 次産業は 37,222 人、第 3 次産業は 190,838 人となっている。

3. 施政方針

施政方針とは新年度を迎えるにあたって、市長が向こう 1 年間の市政運営の基本方針や重要な施策を示すもので、例年市議会 2 月定例会の冒頭、予算案などの審議に先立って演説を行う。

4. 令和 6 年度施政方針

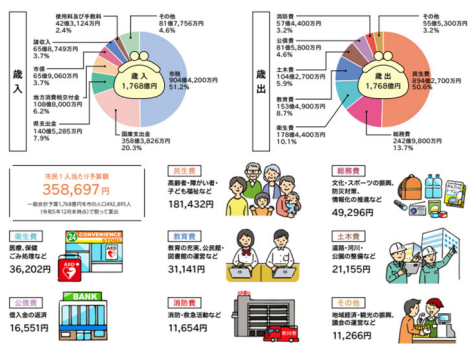
田中市長は、令和 6 年度の施政方針において「誰一人取り残さないまち」、「持続可能で安心・快適なまち」、「魅力あふれる元気なまち」の三つの進むべきまちの姿を示した。



(令和 6 年 2 月議会 田中市長施政方針演説)

5. 予算

令和 6 年度の当初予算は、「市制施行 90 周年記念事業」、「脱炭素社会・カーボンニュートラルの推進」、「高齢者等への支援」など、幅広い分野にわたり予算を配分したほか、公共施設の老朽化対応の財源確保のため基金への積立てを行うなど、将来を見据え強固で安定した財政基盤の維持に努めることで、諸課題の解決に向け持続可能な行財政運営を確立するための予算とし全会計で 2,795 億 1,400 万円を計上した。



(広報いちかわ 2024 年 4 月 6 日号)

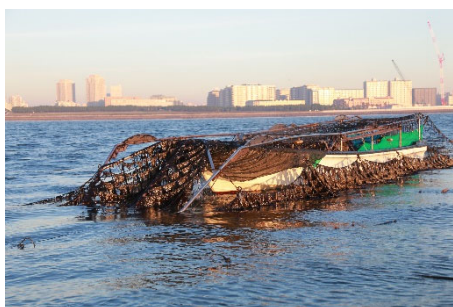
～第1章 市制～

6.人口

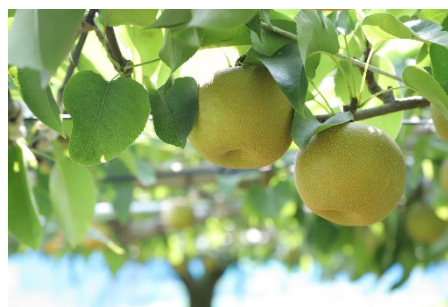
市川市の人口は、令和5年9月30日現在 492,835 人で、人口密度は 8,740 人／k m²、世帯数は 255,930 世帯である。

7.産業人口

産業別就業人口の推移をみると、第1次産業、第2次産業において就業比率は減少傾向にあり、令和2年には第1次産業就業比率は 0.5%、第2次産業就業比率は 15.6%、第3次産業就業比率は 79.8%となっている。



(行徳の海苔)



(市川の梨)

8. 夜間人口・昼間人口

夜間人口及び昼間人口を令和2年でみると、他市町村への通勤通学者の流出入口が、165,291 人（東京都 118,720 人、県内他市町村 39,607 人、東京都を除く県外 6,964 人）で夜間人口（常住人口）496,676 人の 33.3%を占めている。一方、他市町村からの流入人口は 69,828 人で流出入口の方が 95,463 人多くこの結果、昼間人口は 401,213 人となっている。

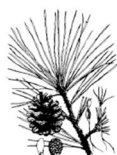
9.市の花等

市の木はクロマツ（昭和45年12月2日指定）

市民の花はバラ（昭和50年7月21日決定）

市民の鳥はウグイス（昭和51年10月21日決定）

市民の昆虫はスズムシ（昭和51年10月21日決定）



市の木 クロマツ
(S 45. 12. 2 指定)



市民の花 バラ
(S 50. 7. 21 決定)



市民の鳥 ウグイス
(S 51. 10. 21 決定)



市民の昆虫 スズムシ
(S 51. 10. 21 決定)

～第1章 市制～

10.市民憲章

昭和 52 年 11 月 3 日に制定された市川市市民憲章には、「1、きれいで安全なより住みよいまちをつくれます」、「1、親切であたたかい希望にみちたまちをつくれます」、「1、教育と文化をそだてかおり高いまちをつくれます」、「1、健康で楽しく働くたくましいまちをつくれます」、「1、みんなの幸せを願い豊かな福祉のまちをつくれます」と定められている。

11. 初代市長

市川市の初代市長は浮谷竹次郎市長であり、通算 8 期 22 年在職された。



(浮谷竹次郎市長)

12.田中市長

田中市長は令和 4 年 4 月 22 日から市川市長に就任しており、第 28 代目の市川市長となる。



(田中市長)

13.総合計画

市川市総合計画は、社会経済情勢の変化や人口の見通し、市民意識などを踏まえた長期的な将来展望に基づいて、市政運営を総合的・計画的に進めるための根幹となる計画であり、行政の各分野における計画や事業展開の指針となると同時に、市民と行政の将来目標となるもの。

市川市総合計画は、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」で構成している。

14. 基本構想

基本構想は、計画的な行政運営を行うために、目指すべき将来都市像等を定めたもの。平成13年度から令和7年度（概ね25年間）を計画期間とし、「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」をまちづくりの基本理念におき、目指すべき将来都市像として、『ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ』を掲げている。

15.基本計画

基本計画は、基本構想に定められた将来都市像を実現するための市の施策を定めたもの。令和5年度から令和7年度までの3年間を計画期間として策定した第三次基本計画は、まちづくりの目標を『具体的な対策で 持続可能な未来につながる まちづくり』とし、市川市を取り巻く様々な課題に対する実効性・即効性のある施策を定めている。



（第三次基本計画）

16. 実施計画

実施計画は、基本計画に示された施策を実現するための具体的な事業を定めたもの。第三次基本計画と同じ令和5年度から令和7年度までの3年間を計画期間として策定した実施計画は、市川市の重点課題などを踏まえた事業を定めている。

17. 核兵器廃絶平和宣言

市川市は生命の尊厳を深く認識し、国是である非核三原則が完全に実施されることを願い、いかなる国のいかなる核兵器に対してもその廃絶と軍縮を訴え、人類共通の願いである世界の恒久平和確立のため「核兵器廃絶平和都市」となることを宣言した。

かくへいきはいぜつへいわ と し せんげん 核兵器 廃絶 平和 都市 宣言

せかい こうきゅうへいわ あんぜん じんるいきょうつう ねが
世界の 恒久 平和 と 安全 は、人類 共通 の 願いである。

ふへん ねが にもかかわらず、かくぐんび かくちよう いぜん
この 普通 の 願いにもかかわらず、核 軍備 の 拡張 は 依然 として

おこな じんるい かくせんそう きょうい
行 われており、人類 は 核戦争 の 脅威 にさらされている。

くに せかいゆいっ かくひばくこく かくへいき おそ
わが 国 は、世界 唯一 の 核被爆国 として 核兵器 の 恐ろしさ、

ひばくしゃ くる せかい ひとびと うった ふたた ひろしま ながさき さんか
被爆者 の 苦しみを 世界 の 人々に 訴え、再び 広島、長崎 の 惨禍

ぜったい く かえ
を 絶対に 繰り 返さ せてはならない。

わたくし いちかわしみん せいめい せんげん ふか にんしき こくぜ
私 たち 市川 市民 は、生命 の 尊厳 を 深く 認識 し、国是 であ

ひかくさんげんそく かんぜん じっし ねが くに
る 非核 三原則 が 完全に 実施 されることを 願い、いかなる 国 の

かくへいき たい はいぜつ ぐんしゆく うった こうきゅうへいわ
いかなる 核兵器 に対してもその 廃絶 と 軍縮 を 訴え、恒久 平和

かくりつ かくへいきはいぜつへいわ と し せんげん
確立 のため、ここに「核兵器 廃絶 平和 都市」となることを 宣言
する。

昭和59年11月15日

市 川 市

(核兵器廃絶平和宣言)

～第1章 市制～

18.職位

市川市職員の職は、部長-次長-課長-主幹-副主幹-主査-主任-主任主事-主事となる。

19.職員数

令和6年4月1日現在の職員数は3,106人となる。

※会計年度任用職員、短時間勤務職員を除き、育児休業中の職員を含む実数。

20. ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、統計処理上の加重平均の一方法で、国家公務員の給料を100とした場合の地方公務員の給料水準を示すものであり、令和5年度の市川市の指数は101.0となった。

21.新庁舎整備

旧本庁舎については、3つの棟に分かれ、最も古いもので築50年以上が経過し、老朽化に加え耐震性が不足し、耐震補強も困難な状況にあった。この他、狭あいな執務空間やバリアフリー化の遅れ等様々な問題を抱えていた。このため、平成22年度より庁舎の建て替えを含めた検討に着手し、23年度に建て替えによる整備を決定した。

27年度には、南分庁舎を解体し、新第2庁舎の建設を開始した。

29年度には、新第2庁舎を完成させるとともに、本庁舎機能を移転し、仮本庁舎として供用を開始した。その後、旧本庁舎の解体及び新第1庁舎の建設を開始した。令和2年度には、新第1庁舎を完成させ、8月に一部の供用を開始し、3年1月に全ての供用を開始した。また、新第2庁舎の本供用に向けた改修工事を行い、3年1月に一部の供用を開始した。

3年度には、5月に新第2庁舎の全ての供用を開始し、南八幡仮設庁舎及び市川南仮設庁舎の解体を行い、新庁舎整備は完了した。



22.自治会

市内には自主的に組織された自治（町）会が226団体（令和6年4月1日現在）あり、会員相互の親睦はもとより地域社会の発展と福祉の増進に努めている。また、市から依頼する文書等の配布並びに調査、その他行政への協力を通じ、市と市民とを結びつけるパイプ役としての重要な役割を果たしている。



23. 戸籍の証明等

市民課は、市民の身分関係、居住関係を記録・公証し、私的経済の取引・登記などに必要な印鑑登録の証明、更に住民異動に伴う国民健康保険の資格取得・喪失、入学通知書の発行など総合窓口サービスを実施している。

昭和59年1月には住民記録を、同年9月には印鑑登録証明事務を、また、平成11年12月には戸籍事務のオンライン化を図った。

平成16年11月には自動交付機の証明交付サービスを、22年2月にはコンビニ交付サービスを、また、27年10月のマイナンバー制度導入に伴い、28年2月からは行政サービス端末による証明書交付サービスの開始をするなど、市民サービスの向上を図っている。

～第1章 市制～

24.大柏出張所など

大柏出張所は56年9月に大野町2丁目から現在の南大野2丁目へ大野公民館との複合施設として移転。また、南行徳市民センターは平成12年4月に南行徳窓口連絡所の機能を、市川駅行政サービスセンターは20年12月に市川窓口連絡所の機能を拡大して開設。

いずれも、戸籍（市川駅行政サービスセンターを除く）・住民異動の受け付け、各種証明の交付業務及び国民健康保険や国民年金の資格取得・喪失、各種税金の収納（南行徳市民センター、市川駅行政サービスセンターを除く）、福祉関係の申請書受け付けなどを行い、幅広い市民サービスの向上を図っている。

25.まちの相談直行便

市民生活の安全・安心を重視し、市民窓口相談の充実を図るため、市民から寄せられる要望・苦情等に迅速に対応ができるよう、「まちの相談直行便」を平成13年から市役所本庁と行徳支所に設置している。

「まちの相談直行便」は、市民からの要望等を受け、迅速に現場に出向き、状況を把握し対応するとともに各所管課での対応となる要望等については適切な対応を図るよう依頼している。

令和5年度の処理件数は2,146件で一番多い内容は動物関係となっている。

26. 行徳支所

昭和30年3月31日、行徳町が市川市に合併され、同日公布・施行された市川市役所支所設置条例に基づき行徳支所を設置。江戸川放水路以南の約12.61km²（市域全体の約22%）を所管区域とする。

所管区域の世帯数：93,126世帯

人口総数：167,687人（住民基本台帳人口。令和6年3月31日現在）



～第1章 市制～

27. 公民館

市内には15の公民館があり、地域住民の最も身近な学習拠点として、ニーズに応じた様々な学習機会や情報の提供に努めるとともに、各種団体の活動や学習成果の発表等を通じて、地域住民が集い交流できる施設運営を行っている。

28. 図書館

いつでも・だれでも・どこでも利用できる図書館サービス網の形成を目指している市川市の図書館は、平成6年11月に開設した中央図書館を中心にして、行徳図書館（昭和39年6月開館・平成元年4月建て替え）、信篤図書館（昭和54年2月開館）、南行徳図書館（昭和58年10月開館）、市川駅南口図書館（平成21年4月開館）の5館と平田図書室（昭和62年10月開室）、市内25の各ステーションを概ね月2回巡回する自動車図書館（昭和50年開始）で図書館サービスを行っている



（中央図書館が入る生涯学習センター）

29. 土地開発公社

土地開発公社は、市に代わって公共用地などの取得・管理・処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的として昭和50年7月、市が設立した。

～第1章 市制～

第2節 地理

30.市川市の位置

市川市は千葉県北西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市と鎌ケ谷市、南は浦安市と東京湾に面し、また、江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相対している。

都心から 20 km 圏内にあり、文教・住宅都市として発展している。

都心部と県内各地域を結ぶ広域交通が集中しており、ＪＲ総武線・京葉線・武蔵野線、京成線、東京メトロ東西線、都営新宿線、北総線といった鉄道網が発達し、京葉道路・湾岸道路・国道 14 号などの幹線道路が東西方向に、東京外かく環状道路が南北方向に通っている。



(市川市の位置)

31.地形

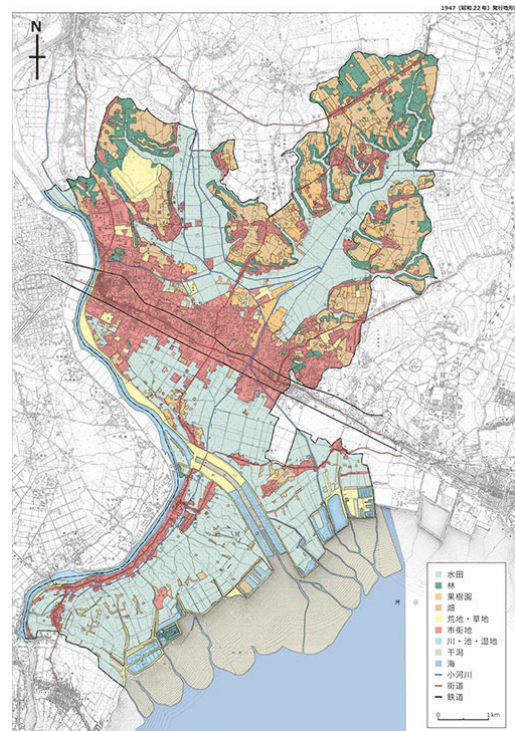
市川市の地形は、北部に標高 20m 前後の大地があるほかは、おおむね平坦である。

北部は、大野・大町の台地を中心に梨栽培などの農業が盛んで、屋敷林や斜面林などの緑も多い。

中央部は、古くからの住宅地が多く、京成線に沿った菅野・八幡の一带には市の木であるクロマツが点在し、市の代表的景観を形成している。

南部は、埋め立てによってできた部分が多く、高度成長期以降、東西線開業を機にマンションなどの高層住宅が発達した。

東京湾に面した臨海部には、湾岸道路を中心に物流の拠点や工業地帯が広がっている。



(昭和 22 年頃の土地利用図)

～第1章 市制～

第3節 市議会

32.市議会

市議会議員は4年ごとに選挙によって選ばれ、議員数は条例（市川市議会議員定数条例）で42人と定めている。議員の平均年齢は57歳、最年少は37歳となる。（令和6年7月1日現在）



33.委員会

市議会には、総務委員会、健康福祉委員会、環境文教委員会、建設経済委員会の4つの常任委員会がある。

34. 議会

本会議は年4回とし、2月、6月、9月及び12月に召集され、会議時間は午前10時から午後5時までとなる。

35.議会事務局

議会の仕事を円滑に進めるため、議会事務局が置かれている。本会議・委員会の事務や議会のようすをまとめた会議録・市議会だよりの作成など、議会のいろいろな事務にあっている。

36.採決

採決には電子採決表示システムを活用し、賛成の場合は、各議席に設置した「賛成」ボタンを押す。なお、「賛成」ボタンのみであり、「反対」ボタンはない。

～第1章 市制～

第4節 名誉市民・市民栄誉賞

37. 名誉市民

市川市には市民または市に縁故の深い人で市に功績のあった人、広く社会の進展・学術文化の興隆に貢献した人のうち功績が特に顕著な人に称号を贈り、市民の敬愛の対象として顕彰する名誉市民が23名おり、直近では片岡直公氏と中津攸子氏の2人に授与している。

38. 車いすラグビー選手

羽賀 理之（はが まさゆき）さんは、パリ2024パラリンピック車いすラグビー競技において金メダルを獲得した。

この功績により、令和6年、市民栄誉賞が授与された。

市川市生まれ、市立行徳小学校卒業。

39. 競泳選手

辻内 彩野（つじうち あやの）さんは、パリ2024パラリンピック競泳女子100m自由形（S12クラス）において銅メダルを獲得。

この功績により、令和6年、市民栄誉賞が授与された。

学校法人昭和学院高等学校卒業。

40. プロサッカー選手、サッカー男子U-23日本代表コーチ

木村 誠二（きむら せいじ）さんは、サッカー男子U-23日本代表選手としてパリ2024オリンピックサッカー競技に出場した。Jリーグ サガン鳥栖に所属（大会出場当時）。

市川市生まれ、市立平田小学校・市立第八中学校卒業。FC平田・市川FC出身。

羽田 憲司（はねだ けんじ）さんは、サッカー男子U-23日本代表コーチである。

市川市生まれ、市立塩焼小学校・市立妙典中学校卒業。市川FC出身。

41. バスケットボール選手

三好 南穂（みよし なほ）さん、赤穂 ひまわり（あかほ ひまわり）さんは、東京2020オリンピックバスケットボール女子競技において、日本バスケットボール史上初の銀メダルを獲得した。

この功績により、令和3年、お二人に対し市民栄誉賞が授与された。

三好 南穂 さん 市川市生まれ、市立菅野小学校・市立東国分中学校出身卒業。

赤穂 ひまわり さん 学校法人昭和学院中学校・高等学校卒業。

～2 章 広報・情報・多様性～

第 1 節 広報

42. 広報活動

市川市では、昭和 26 年から発行している広報いちかわをはじめ、SNS など多様な情報媒体を活用して市政や地域の取り組みに関する様々な情報を発信することで、市政への関心や地域への愛着を高めている。



(広報いちかわ)



(市川市公式 YouTube チャンネル)

43. メール情報配信サービス

市から伝えたい情報を、電子メールを利用して、携帯電話やパソコンに配信している。内容は、緊急情報、地震情報、津波情報、気象情報等、安心安全情報、火災情報、防犯情報、生活情報、消防局からのお知らせがあり、受け取る情報を自分で選択できる。

登録方法

1. 二次元バーコードを読み取り（若しくはアドレス：login@ichikawa-city.mailio.jpを直接入力し）、空メールを送信します。
2. 「市川市メール情報配信サービス」からのメールを受信したら、24時間以内にメッセージを開き URL へアクセスします。
3. 「規約に同意して登録する」にチェックを入れ、「次へ」を押下。
4. 配信を希望する情報を選択し、「次へ」を押下。
5. 配信を希望する時間帯を選択し、「次へ」を押下。
6. 登録内容を確認の上、「登録」を押下し、完了。



44.市民の意見箱・各課問い合わせフォーム

本庁・支所・出張所等の窓口を設置した投稿箱や市公式Webサイト内の投稿フォームから、市政に関する意見、提案等を広く受け付けている。また、所管課へダイレクトに問い合わせができる各課問い合わせフォーム機能により、投稿者に回答するまでの時間短縮を図っている。寄せられた意見提案等は各所管が連携して対応し、効果的に施策へ反映している。数多く寄せられた質問は、FAQ（よくある質問集）として公開している。

45.タウンミーティング

市長と市民が直接対話する場を設け、意見交換を行うことで、市民の市政に対する関心を高め、効果的な施策につなげることを目的に実施している。



(タウンミーティングの様子)

46. LINE の活用

平成31年3月より、利用者の個々の状況に合わせた情報配信サービス（セグメント配信）の運用を開始。その後、駐輪場使用許可申請、り災証明交付申請（地震・風水害）及び飼育犬に関する手続きなど随時サービスを拡充している。また、令和元年7月よりAIチャットボットを使った子育て等の問い合わせ自動応答サービス、3年2月より各種ライフイベントの手続きにおける案内サービスの運用を開始した。

第2節 情報

47. コンビニ交付サービス

平成22年度より住基カードを利用して、住民票の写しと印鑑登録証明書をコンビニエンスストアで取得できるコンビニ交付サービスを開始した。その後24年度には、戸籍の証明書と税の各種証明書の交付サービスを追加した。また、コンビニエンスストアの店舗も、当初セブン-イレブンでサービスを開始したが、25年度より新たに交付サービスに参加するコンビニエンスストア等でも利用できるようになった。また、27年度にはマイナンバーカードを利用したサービスも開始した。



(昭和26年ごろの広報紙)



市川市のおニョ～なNEWSを放送中!

(市川市の耳寄りな情報を月2回配信。動画は、撮影・編集・アニメーション制作・ナレーションまで全て広報広聴課の手作り)

第 3 節 多様性

48.男女共同参画

市川市では、昭和 63 年 1 月に「男女平等社会への市川市行動計画」を策定し、その後平成 7 年に改定、14 年には「男女共同参画社会基本法」に基づく法定計画である「市川市男女共同参画基本計画」を策定した。また、15 年度に施行した「市川市男女平等基本条例」を 18 年度で廃止し、19 年度より男女が、その特性を生かし、必要に応じて適切に役割分担しつつ、対等の立場で協力し補完し合って、個性と能力を発揮していくことをうたった「市川市男女共同参画社会基本条例」を施行している。

49.外国人国籍

市内の外国人登録者数は令和 6 年 4 月末現在で 114 カ国 20,531 人となっている。令和 6 年 3 月末現在、市川市に住民登録されている外国籍の方上位 5 か国は 1 位が中国で 6,940 人、2 位がベトナムで 2,233 人、3 位がネパールで 2,165 人、4 位がフィリピンで 1,646 人、5 位が韓国 1,379 人となっている。

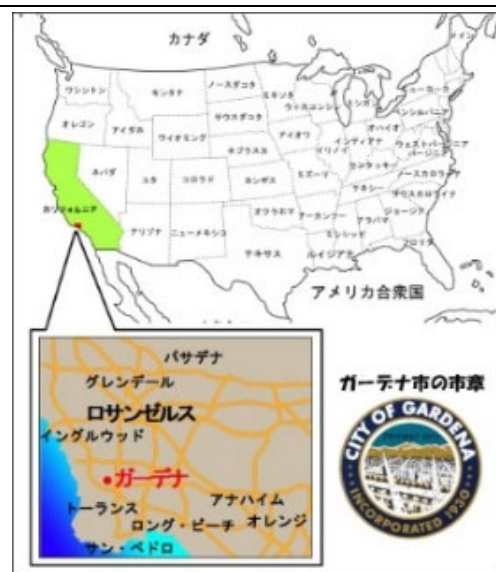
50. 姉妹都市・友好都市

市川市はガーデナ市（アメリカ合衆国カリフォルニア州）、樂山市（中華人民共和国四川省）、メダン市（インドネシア共和国北スマトラ州）と姉妹都市・友好都市を締結しており、ローゼンハイム市（ドイツ連邦共和国バイエルン州）、イッシー・レ・ムリノー市（フランス共和国イル・ド・フランス地域圏）とパートナーシティを締結している。

51.姉妹都市 ガーデナ市

姉妹都市であるガーデナ市はアメリカ合衆国カリフォルニア州にあって、ロサンゼルス市の南約 23 キロメートルに位置しており、夏の平均気温は 20 度、冬の平均気温は 12 度、年間降雨量 330mm と快適な気候に恵まれている。

市の西側をサンディエゴ・フリーウェイ、東側をハーバー・フリーウェイ、南側をアーテシア・フリーウェイが通っており、ガーデナ市は「フリーウェイ・シティ」とも呼ばれ、1954 年に制定された市の紋章にもその文字が入っている。

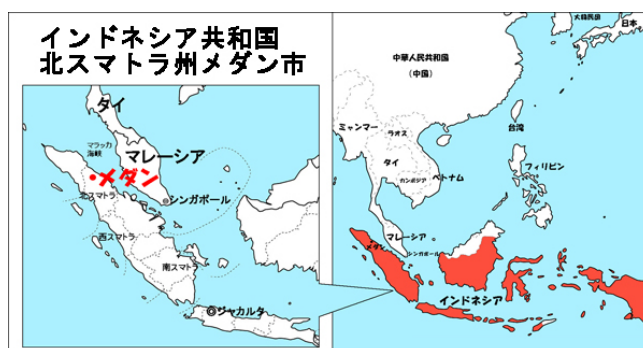


（ガーデナ市の位置）

52.姉妹都市 メダン市

メダン市はインドネシア共和国北スマトラ州の州都で、マラッカ海峡に注ぐデリー川の河口から 24 キロメートル上流に位置する。1860 年代にオランダのたばこ会社が進出してから急速に発展し、タバコ、ゴム、茶、アブラヤシなど、周辺地の産物の集散地として繁栄してきた。現在は、石油の積出港として知られるベラワン港を擁するスマトラ島最大の交易中心地で、インドネシアの重要な商業都市として発展している。

市川市とメダン市は、両市の公式代表団の相互訪問、市民親善訪問団の派遣、青少年代表団の派遣・受入れなどの人的交流のほか、消防車や補聴器の贈呈、日本猿とオランウータンの交換などさまざまな交流を行ってきた。また、1992 年（平成 4 年）にはメダン市からオランウータン 2 頭が寄贈された。



(メダン市の位置)

53. 友好都市 樂山市

樂山市一帯の地形は起伏に富み、良好な自然環境と景観にも恵まれ、市南部の凌雲山には世界で最も高い石仏座像といわれる樂山大仏がある。同市から 36 キロメートルのところには中国仏教の 4 大名山のひとつで、山中に数十の寺院を有する峨眉山がある。1996 年 12 月に樂山大仏と峨眉山がユネスコの世界遺産に登録された。

友好都市締結 5 年を迎えた 1986 年、市川市動物飼育技術研修団 3 名が訪中し、四川省成都動物園においてレッサーパンダの飼育技術を研修し、帰国の際には、樂山市よりレッサーパンダ 1 対（オス「真真（シンシン）」、メス「誠誠（セイセイ）」を贈られた。



(樂山市の位置)

～3 章 観光・産業・文化～

第 1 節 観光

54.大町レクリエーションゾーン

大町公園を中心に、自然と緑が残されている大町地区約 150 ヘクタールを大町レクリエーションゾーンとして設定し、その拠点として動植物園がある。そのほかゾーン内には、観賞植物園、自然観察園、バラ園、自然博物館、少年自然の家(プラネタリウム)、民営のフィールドアスレチックなど、自然学習やレクリエーションの場として、市内外の多くの人たちに親しまれている。

その中で動植物園は、小動物を中心に、動物とのふれあいをテーマに、なかよし広場・家畜舎・小獣舎・サル山・サル舎・フライングケージ・オランウータン舎に分けて 43 種 310 点の動物を飼育展示している。

55. 考古博物館

考古博物館は市内の豊富な埋蔵文化財の滅失・散逸を防ぐため、これを収集・保管・展示及び調査研究して保護活用すると共に市民の郷土に対する認識と愛着を深めるため昭和 47 年 11 月 3 日に開設された。



56.歴史博物館

歴史博物館は市川市を中心とした郷土の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図ると共に、市民の郷土に対する認識と愛着を深めるため昭和 57 年 11 月 1 日に設置された。

57. 自然博物館

自然博物館は市内の自然を対象として自然のありさまを記録して後世に伝えと共に、地域の自然との付き合い方を広く市民に伝え市川の自然を再発見してもらうことを目的とし、平成元年 10 月 24 日に開館した。

58. 道の駅いちかわ

東京外かく環状道路（外環道路）における道路利用者の休憩場所の提供、シティプロモーションの推進、地域の活性化等を図るため、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」に「防災機能」を加えた道の駅「いちかわ」を平成 30 年 4 月に開設した。

【道の駅登録】

登録名称 いちかわ

登録日 平成 29 年 11 月 27 日（第 48 回登録）

登録番号 千葉県第 29 号



（道の駅いちかわ 外観）



（市川産のホンビノス貝と
海の幸のトマトソース）



（市川特産品の梨の販売）

59.動植物園

昭和 62 年 8 月 21 日に開演した動植物園はオランウータンやレッサーパンダなど小動物を中心に約 43 種の動物がいる。また、動物に直接触れたり抱いたりすることができる「なかよし広場」があり、さらに、観賞植物園、自然博物館、自然観察園、バラ園、周辺には少年自然の家（プラネタリウム）、民間のアスレチックなどがあり、家族連れ等で自然を楽しむことができる。



(2021 年に仲間入り アルパカ)



(2022 年に仲間入り マイクロブタ)



(流しカワウソ)

60.観光振興ビジョン策定

市川市では、市川市の観光についての明確な将来像を地域で共有する「市川市観光振興ビジョン」を令和 4 年 3 月に策定。市民の皆様から市川市を来訪される方まで、たくさんの方に「市川ファン」になっていただくことを目指し、観光政策を展開している。

61. 市川市らしい観光を推進するために観光ビジョンで設定した目指すべき将来像

市川市らしい観光を推進するために目指すべき将来像として次の 3 つを掲げている。

将来像 1 多彩な魅力を育て、輝き続けるまち

将来像 2 市民に愛され、来訪者がファンになるまち

将来像 3 一人一人が担い手となり、情報や交流の“つながり”が広がるまち

62.市川市観光振興ビジョンのキャッチフレーズ

市民・地域事業者・行政らが将来像を共有し、地域が一体となって観光を推進できるように、『気づいて市川 築いて ICHIKAWA』キャッチフレーズを策定した。

気づいて市川 築いて ICHIKAWA



63.市川市観光振興ビジョンの基本方針

観光振興ビジョンでは次の4つの基本方針を設定し、取り組みの方向性を示している。

基本方針1 地域ごとの魅力磨き上げと市川ブランドの確立

基本方針2 市民が市川市を楽しみ、来訪者も市川市を好きになる体制の構築

基本方針3 市川市の観光を築く担い手づくりとその交流の促進

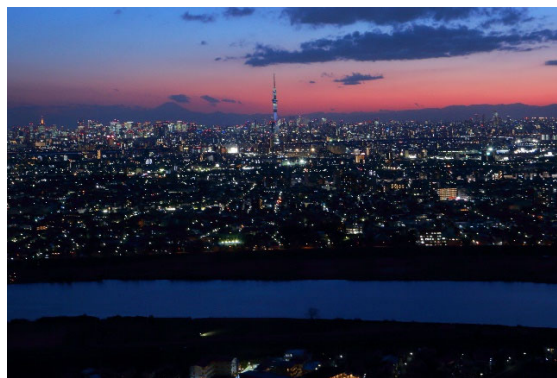
基本方針4 ターゲットを見据えた的確な情報発信

64. アイ・リンクタウン展望施設

JR市川駅南口にある「アイ・リンクタウン展望施設」は、地上からおよそ150mの高さから都内や千葉方面を一望できるビュースポットである。



(アイ・リンクタウン展望施設)



(アイ・リンクタウン展望施設からの夜景)



(アイ・リンクタウン展望施設から見る花火)

第 2 節 産業

65.ICHICO

令和 5 年度より、地域経済と市民活動の活性化を目指し、デジタル地域通貨「ICHICO」がスタートした。チャージのほか、地域に貢献する活動や健康づくりなどを通じて、ICHICO ポイントが貯まる。貯まったポイントを市内の加盟店で利用することにより地域経済の活性化につながる。



(各種イベントを開催)

66.労働なんでも相談

賃金・解雇・退職金等の労働条件に関する問題や労働保険等の相談を社会保険労務士会の協力で毎月第 1・3 水曜日の午後 6 時から 8 時に行っている。(8 月は無し、1 月・2 月は第 3 水曜日のみ開催)

67.市川のなし

優れた品質と県内トップクラスの産出額を誇る梨栽培は、平成 19 年に特許庁より、「市川のなし」及び「市川の梨」が「地域団体商標登録（地域ブランド）」として認証を受けている。



(市川の梨)



(太田市場で梨を PR)



(令和 6 年は梨花隊が活躍)

第3節 文化

68. いちかわかるた

市川市が持つ有形無形の地域資源の魅力について、子どもから大人まで一緒に楽しみながら幅広く知ることができる「いちかわかるた」を作成した。作成したかるたは、地域学習や校内活動で活用してもらうため、市内小学校等へ配布するとともに、希望者への販売を行っている。



69.文化会館

文化会館は市制 40 周年記念事業として計画、昭和 60 年 11 月 3 日に開館し、市民の文化芸術の鑑賞及び創作活動の拠点となっている。



(市川市文化会館)

70.行徳公会堂

行徳公会堂（行徳文化ホールⅠ＆Ⅱ）は第七中学校の老朽化校舎の建て替えに伴い、行徳地区で市民の要望が多かった保育園、ケアハウスなどの他、市民が集い、文化活動の核となるホールを備えた複合施設（市川七中行徳ふれあい施設）として P F I 事業で建設し、平成 16 年 10 月 30 日に開館した。

71. 全日警ホール

市民の芸術文化活動などの利用に供する施設として平成 29 年 3 月 1 日に開館。同施設の維持管理等の財源とするため、ネーミング・ライツパートナーを募集した結果、「全日警ホール」に決定した。



(全日警ホール)

72.市川の由来

市川という地名の由来は市川の西を流れる江戸川が、坂東一の大きな川だということから一の川といい、それが後になって市川になったという説や、川舟に荷を積んで集まった人々によってひらかれた市場の場所を市川と呼ぶようになった説がある。

古代にはあった地名と考えられるが、記録では南北朝時代に市河村として見られる。

また、室町時代から戦国時代にかけての市川には渡し場があって宿駅にもなっていたので当時から交通の要衝だったことがわかる。

73.真間の由来

ママという言葉には崖という意味がある。弘法寺の前に急な斜面が続いているので、この地形につけられた地名がこの付近の地名となったもののようである。

真間には美女手児奈の伝説がある。下総国府に近かったのでその名は都にも知られ、山部赤人の「われも見つ人にも告げむ葛飾の真間の手児奈が奥津城処（おくつきどころ）」ほか多くの歌が真間の地名と共に「万葉集」に詠みこまれている。

このような古くからある地名のため鎌倉・室町時代の記録にも「八幡庄真間弘法寺」「市河之内真間」のように記されているが、市河之内と記されたように、真間は長い間市川の一部で、明治の初め頃、市川村から分かれて真間村となったようである。

74. 欠真間の由来

この地名には、大津波で真間の岡の一部がくずれ、流されてできた土地なのでこの地名がついたという伝説がある。

また、国府台合戦の難をのがれた真間の人々がここに移住して開拓したのに由来するともいわれている。

欠真間村は江戸時代からあった村名である。幕末の支配は幕府領、石高は 808 石余とある。

75.行徳・妙典の由来

行徳という地名は、室町時代になって記録上に登場する。また、戦国時代、金海法印という山伏が土地の開発と人々の教化に勤め「徳」が高く、「行」が正しかったことから、人々から「行徳さま」と崇められたと伝えられている。

その後行徳は「戸数千軒、寺百軒」と呼ばれる寺町として発展した。

一方、「妙典」という地名も法華経の経典が日蓮の唱えた「南無妙法蓮華経」のごとく、妙なる経典であるということからついた地名である。

76.鬼越の由来

鬼越という変わった地名から、その由来に関する伝説は多くて、次のような説がある。

1. 鬼国の人が鹿島神宮へ降伏のため、この地を越していったから。
2. この地に鬼が出没していて鬼子居（おにごい）と呼ばれていたから。
3. この地にある神明社を俗に鬼にげといていたから。

このように伝えられているが、地名を説いた本にも御荷越（おにごし）・隠越（おにごし）・尾根越（おねごし）が変わったものとの説もある。

平安時代末の治承 4 年に東胤頼がこの付近で詠んで源頼朝に献じた歌に「鬼のしこ草踏み越えて」と詠み込んだ歌もある。

77. 下総国分寺の瓦

奈良時代、下総国分寺が建立された。その屋根を覆ったのが瓦、なかでも軒先の瓦には宝相華文が施されていた。宝相華文は中国で考えられた文様で、その図案は、地中海周辺からシルクロードでもたらされたツタの文様（唐草文）と、インドからもたらされたハスの花の文様（蓮華文）をもとにしている。宝相華文の瓦は国分寺の創建では下総だけにある。その理由は不明であるが、その背景に古代の豊かな国際交流があり、その一端がこの瓦に表れている。

78.市川の先土器（旧石器）時代

昭和 29 年（1954 年）、明治大学が国府台 4 丁目の丸山古墳を発掘した際、関東ローム層まで掘り下げたところ、偶然にも先土器（旧石器）時代の礫群と石器が発掘された。この遺跡は、千葉県内ではじめて発見された先土器（旧石器）時代の遺跡であり、丸山遺跡と呼ばれている。なお、市川で最古の遺跡は、国府台 6 丁目の新山遺跡であり、約 2 万 5 千年前にさかのぼる。

79.縄文時代 姥山貝塚

市川にある 5 つの国指定史跡の 1 つである姥山貝塚は、柏井町 1 丁目にある縄文時代中・後期（約 4800～3000 年前）の集落跡である。日本ではじめて完全な形の竪穴建物跡(住居跡)が発見された他、日本ではじめて放射性炭素による年代測定がおこなわれた。これまでに人骨が 140 体以上発見され、縄文人の身長が寿命を知る手掛かりが得られた。大正 15 年（1926 年）の発掘で成人の男性 2 人、女性 2 人、子ども 1 人が建物跡の床面から発見され、死因や家族かをめぐって議論が巻き起こった。

80. 中山法華経寺の由来

中山法華経寺は、日蓮上人に帰依した若宮の領主富木常忍（ときじょうにん）と、中山の領主太田乗明（おおたじょうみょう）の子日高（にちこう）とが、共に館の内部に堂を建て、それぞれ寺院として法華寺（現奥之院）、本妙寺と称したが、のちに合体して一つの寺となり、法華経寺と称するようになった。

81. 日本最古の丸木舟

東京外かく環状道路（外かん自動車道）の建設工事にともなう発掘により、国分 6・7 丁目の雷下貝塚から日本最古となる約 7000 年前の丸木舟が発掘された。この丸木舟は、ムクノキ製で長さ約 7 メートル、幅約 50 cm であり、1 本の木を焦がしながら、削ってつくられている。当時は、カヌーのような形をしていたが、上部が腐食してしまい、底の部分だけが現存している。



（発掘された丸木舟）

82.行徳船

江戸幕府による行徳への取り組みは、塩浜自体の整備に止まらず、それを江戸城まで運ぶための新たな水路の掘割と船便の開通にまで及んだ。この時に開かれた水路が「新川・小名木川」で、二つを合わせて「行徳川」、船便は「行徳船」と通称された。これらによって本行徳村の河岸場から、日本橋小網町三丁目の行徳河岸まで積み替えること無く大量の塩を船で江戸の中心部に運ぶことができるようになった。

83. 文化振興ビジョン

市川は、江戸川のゆったりとした流れと貴重な斜面林の緑、閑静な住宅地に点在する黒松など、水と緑が織りなす自然環境の中で、古くから文化と芸術の土壌が育まれ、市政においても、「文化都市」の実現を目標とし、文化振興に係る各種施策・事業を進めてきた。

これらを活かして市民の文化活動のさらなる促進を図るとともに、「文化都市」にふさわしいまちづくりを計画的かつ体系的に進めていくことが求められている。

そこで、市民と事業者と市が協働して取り組む文化振興の目標や基本方針などを明らかにするため、「市川市文化振興ビジョン」を策定した。

84.市川市の文化人 永井荷風

「断腸亭日乗」などの作品で知られる永井 荷風（小説家・随筆家）が市川に移ってきたのは昭和 21 年 1 月である。はじめは菅野の大島一雄方へ、翌 22 年 1 月同じ菅野のフランス文学者小西茂也方へ移り、さらに 23 年 12 月菅野 1,124 番地(現在東菅野 2-9-11)に 18 坪の家を 32 万で購入して移転した。

その後、昭和 32 年 3 月京成八幡駅にほど近い、現在の八幡 3 丁目 25 番に家を新築して転居し、この家が荷風終焉の地となった。

85.市川市の文化人 北原白秋

「からたちの花」「砂山」などの詩で親しまれている詩人北原白秋（明治 18 年～昭和 17 年）が大正 5 年の夏から約 1 年間、当時小岩にあった離れで、優れた作品の創作を続け、白秋自身でこの離れを紫煙草舎と名付けた。

復元の地をここに求めたのは、小岩に移り住む前、白秋が真間の亀井院に住んでいたこと、小岩に移ってから江戸川越しにこの台地を眺めたであろうこと、そして葛飾の野をこよなく愛していたことによる。

～3 章 観光・産業・文化～

86. 市川市の文化人 東山魁夷

1945 年から 1999 年に逝去するまで、生涯の大半を市川市で過ごした東山魁夷（日本画家）は、市川市文化会館の大ホール第一緞帳の原画を制作するなど、市と関わりが深い芸術家であり、1988 年に市から名誉市民の称号を贈られている。

87.文化施設 法華経寺

山門へまっすぐに延びる参道は、現在、商店街になっているが、その途中に立つ黒門は法華経寺の総門にあたる。朱塗の山門（仁王門・赤門とも言う）に対し黒塗のため、この通称名がついた。



（国指定文化財 法華経寺五重塔）



（市指定文化財 黒門）

88.芳澤ガーデンギャラリー

芳澤ガーデンギャラリーは、約 1,000 坪の敷地に、庭園を活かした美術館として平成 16 年 9 月に開設した。百樹園と名がつく庭園で、四季を彩る木々や草花の空間に身をおいて、多彩な芸術作品に目をやすめ、つかの間の至福の時間を味わっていただける閑静なガーデンギャラリーである。

89. 昔の行楽地

1903 年頃には鉄道や汽船航路の発達により、市川市域を含む北総各地への観光客・行楽客が増加した。当時、市川の桃林は、中山法華経寺や真間山弘法寺と並び、東京から程近い行楽地・散策地として人気を得ていた。

90.手児奈

『万葉集』の中で真間の手児奈という女性の歌が7首詠まれている。「手児奈」は『万葉集』の中で「手児名」とも書かれ、呼び名も「てこな」ではなく「てごな」である。当時の市川では「てご」と呼ばれていた。「てご」とは少女、「な」は親愛の意味なので、真間の手児奈は真間のお嬢さんという通称が人名となった。

その姿は、身なりこそ粗末だが、満月のような豊かな顔をして花のように笑っている、健康的な美女である。しかし、さまざまな男性からの求婚に困り、亡くなった。真間の入江に身を投げたと解釈されている。



(真間の手児奈)

91.常夜灯

塩の生産地である行徳では、江戸へ塩を運ぶために水運が発達した。本行徳と江戸を往復する船は「行徳船（ぎょうとくふね）」と呼ばれ、やがて人や物資の輸送にも使われるようになった。江戸時代には成田山参詣客も利用され、1812年、講中と呼ばれる信者が、航路の安全祈願のため高さ4.3mの常夜灯を建てた。



(市指定文化財 常夜灯)

92. 神輿文化

令和 6 年 11 月 3 日付で「行徳の神輿文化と祭礼」は指定無形民俗文化財に指定された。

【指定内容】

行徳地域は、今日に至るまで神輿製造に関わる人々が居住し、全国有数の神輿づくりのまちとして知られる。地域ごとに、地元行徳で制作された神輿を「地すり」「さし」「放り受け」といったこの地域独特の手法でもみ、祭礼を執り行っている。現在も、当地で製造・修理等が行われた神輿や獅子頭を使用した祭礼が継承されている。なお、以下の祭礼がその事例として選定された。

八幡神社例大祭（上妙典）

春日神社例大祭（下妙典）

五ヶ町例大祭（本行徳、本塩）

胡籙神社例大祭（関ヶ島）

豊受神社例大祭（伊勢宿）

稲荷神社例大祭（押切）

四力村例大祭（欠真間、香取、湊新田、湊）

日枝神社例大祭（相之川）

熊野神社例大祭（新井、島尻、広尾、南行徳）



（行徳の神輿文化と祭礼）

93. 権現道

行徳街道の東側にほぼ平行して、本行徳一丁目の寺町通りから関ヶ島へと通ずる約 1 キロメートルの道が、権現道と呼ばれている。権現というのは徳川家康のことで、家康の死後に「東照大権現」として祀られた。この道は、家康が東金へ鷹狩りのために通った道とされている。

ただし、その根拠は、『葛飾誌略』などの地誌や『塩浜由緒書』など、江戸時代半ば以降に作成された文書や編さん物であることから、確証には至らない。

また、権現道に面して、家康が休息したと伝えられる法泉寺、妙覚寺、円頓寺、浄閑寺、正讃寺、本久寺、教信寺、徳蔵寺など、16 世紀の創建と伝わる寺院が建っており、江戸時代初期頃は、地域のメインストリートであったと考えられている。

なお、江戸時代以前は浜堤という微高地であり、その地先には海岸が広がっていた。

94.浅子神輿店

江戸時代前にさかのぼる古い神輿店である。神輿づくりには、木工・漆工・金工などの技術技法があり、浅子周慶代々の遺産としてその伝統を受け継いだ。

昭和4年(1929)上棟の建物は重厚な棧瓦屋根の付いた切妻造二階建ての店舗と平屋建ての居住部からなる。室町時代からと言われる神輿造りの歴史とあわせて評価され、平成22年(2010)に国の有形文化財に登録された。

現在は、「市川市行徳ふれあい伝承館」として神輿をはじめとする、行徳の歴史や文化を紹介し、地域の魅力を発信する施設となっている。

95. 成田道（成田街道）

成田道（成田街道）は江戸時代に成田山参詣ルートとして利用された全長約63kmの街道。ルートは諸説あるが、陸路：新宿－小岩、または水路：日本橋小網町－行徳、市川八幡－船橋－大和田－臼井－佐倉－酒々井－成田と言われている。

96.江戸川放水路

洪水を防ぐため、大正8年(1919年)に江戸川放水路が完成した。現在は放水路を江戸川本流とし、もとの流れは旧江戸川と呼ばれている。放水路で分断された行徳と八幡を結ぶ行徳橋がかけられ、更に昭和18年(1943年)に江戸川水閘門、昭和32年(1957年)に行徳可動堰、平成31年(2019年)に妙典橋が整備された。



(昭和23年航空写真)

97. 笹屋うどん

「笹屋うどん」は現在でも安政元年（1854）に建てたという店が残っており、「快晴の時にえらんで干し、味はすばらしくよく、実に長くてほめ賞すること限りなし」とまで宣伝されたうどん。

この笹屋には源頼朝が立ち寄ってうどんを食べた話が伝わり、またそのことを描いた屏風が残されている。屋号の「笹屋」については、源頼朝が源氏の家紋にちなんで名付けたという伝説もある。

【動画・CG で紹介する国指定の文化財】



＞ 法華経寺祖師堂



＞ 葛飾八幡宮千本公孫樹



＞ 堀之内貝塚

市川市内にある国指定重要文化財・法華経寺祖師堂、国指定天然記念物・葛飾八幡宮千本公孫樹、国指定史跡・堀之内貝塚を最新技術と多彩な方法で紹介します。特に、ドローンを活用した迫力のある空中映像は、文化財の立地や景観をまるごと体感できるほか、堀之内貝塚は、縄文時代の様子を CG で再現した映像が楽しめます。ぜひ、現地にもお越しください。



（CG 縄文の村（堀之内貝塚））

第 1 節 健康寿命

98.健康都市

市川市は、WHO（世界保健機関）が提唱し、世界の都市が取り組んでいる「健康都市」を目指すため、平成 16 年 11 月 3 日の市制施行 70 周年記念式典の中で、WHO 憲章の精神を尊重した「健康都市いちかわ」宣言を行った。

99. 健康寿命延伸事業

市川市では「健康寿命日本一のまち」を目指し、市民の健康意識の更なる向上と、より良い生活習慣の実践、継続に向けた啓発を強く推進するため、令和 4 年度より健康寿命延伸事業に取り組んでいる。

令和 5 年度は、健康に関する知識と教養を高め、より良い生活習慣の実践に向けた行動の変容を促すため、健康講演会を 4 回開催した。

また、市内 20 箇所に体組成計と血圧計を設置し、自由に自身の健康に関するデータを測定できる環境を整備するとともに、新たな健康ポイント事業「Aruco（あるこ）」を開始することで、市民が自身の健康状態をデータで意識し、健康的な生活習慣を継続することができるよう支援していく。



（健康ポイント Aruco（あるこ））

～4 章 子育て・福祉～

100.長寿ふれあいフェスティバル

高齢者の生きがいのある生活や高齢者相互の親睦、健康の保持を支援することを目的として、高齢者クラブを中心とした、歌や踊り等日頃の趣味活動の発表会を、年 1 回開催している。

令和 6 年度は 90 周年記念事業として 9 月 13 日に市川市文化会館で開催した。

101.チケット 75

75 歳以上の方を対象に、外出を促進し健康寿命の延伸を目的として、市内で利用できるバス・タクシーチケットを支給している。(1 人あたりバスチケット 10 枚、タクシーチケット 5 枚。)

102. いちわかプログラム（通所型短期集中予防サービス事業）

フレイル状態にある高齢者が”元気な生活を取り戻す”ことを目的として、リハビリ専門職の助言のもと短期間集中的に個別のプログラムに取り組む介護予防プログラムを実施している。

103.いきいきセンター

60 歳以上の市民が教養講座やサークル活動等を通じて、教養の向上・健康保持・生きがいづくりができるよう、高齢者のいきいきの場を提供する施設である。市内に 12 カ所設置している。

104.地域共生センター

地域共生社会の理念に基づき、社会参加と介護予防の取り組みを行うことで、地域共生社会の実現を目指す施設である。地域共生社会の実現に資する活動に取り組む団体と地域の方々が利用できる。

モデル施設として南行徳に 1 カ所設置している。



(市川市南行徳地域共生センター)

105. 公益社団法人 市川市シルバー人材センター

高齢化社会が進行する中で、健康で働く意欲のある 60 歳以上の高齢者に臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事をお世話するための公益法人。

高齢者がこれまでの経験を生かし、働くことを通じて副次的な収入を得ながら、健康の維持や社会参加の歓びを得て生きがいの充実を目的とした会員制の組織であり、市内に住む人ならだれでも参加できる。

106. 高齢化率

令和 5 年（2023 年）9 月末における市川市の高齢化率（総人口に占める 65 歳以上高齢者の割合）は 21.5% となっている。令和 22 年（2040 年）に向けて高齢化率は約 27% まで上昇し、特に、要介護認定を受ける割合の高い 85 歳以上の高齢者は、ピーク時（2030 年代後半）には令和 5 年度の 1.5 倍以上になると推計されている。

107. 高齢者クラブ

高齢者クラブとは「のばそう 健康寿命、担おう 地域づくりを」をテーマに、スポーツなどを通じた健康づくりや、地域での声掛け・ボランティア活動などの社会貢献活動、趣味や教養を深める文化活動など、地域社会がより豊かになるような活動を同世代の仲間と共に行う自主組織である。おおむね 60 歳以上の方が参加可能である。

108. 高齢者サポートセンター

高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などの専門職員が、健康や介護の相談など、さまざまな面から支援を行う。

109. 認知症サポーター

市川市では、認知症に関する正しい知識を持ち、地域で認知症の人や家族を支援する認知症サポーターの養成に取り組んでいる。

110. シニアカレッジ

いきいきセンター等で 60 歳以上の方を対象に、ヨガや太極拳等の多彩な講座「シニアカレッジ」を実施している。シニアカレッジは未経験の方でも楽しめる初級講座である。

第 2 節 福祉・保健

111. いちカレ事業

日々の生活に困窮している方などに、国民食であるカレーライス（いちカレ）を提供することで、明日への活力をつけてもらうことを目的とする事業である。

○実施状況（令和 5 年度）※6 年 1 月から事業開始

- ・ 実施事業者 3 事業者
- ・ 実施回数 27 回
- ・ 延利用人数 398 人



いちカレ



食物繊維が豊富なごぼうを使用

房州ひじきを使った
磯の香り豊かなカレー

鶏の肉と呼ばれる大豆を使用

食物繊維カレー（4人分）	単位：g
【雑穀ご飯】	
白米	280
雑穀米	40
水	416
【カレーソース】	
房州ひじき（乾物）	6
玉ねぎ	300
ごぼう	70
豚ひき肉	200
大豆の水煮	120
油	9
カレールー	80
水	660

【下準備】

- ・ ひじきは10分水で戻しておき、1cm程度に切りそろえておく
- ・ 米を洗米し、雑穀米を加えたり浸漬したゆち炊飯する
- ・ 玉ねぎ、ごぼうはフードプロセッサーで7mm角のみじん切りにしておく

【作り方】

- ①鍋に油をしき中火にかけ、玉ねぎを炒め、玉ねぎの色が変わったりごぼうを加えて更に炒める。
- ②豚ひき肉を加え、色が変わるまで炒める。
- ③ひじきと大豆の水煮を加え全体をなじませる。
- ④水を加え沸騰させ、ごぼうが柔らかくなるまで15分程度中火で煮込む。
- ⑤一度火を止めて、カレールーを加え、ルーを完全に溶かす。
- ⑥再び弱火にかけて焦がさないように混ぜながら10分程度煮込んだり完成！



エネルギー：569kcal
たんぱく質：20.5g
脂質：20.8g
炭水化物：82.6g
カルシウム：93mg
食物繊維：7.0g
食塩：2.5g

（和洋女子大学家政学部福祉学科協力 いちカレレシピ）

112.社会福祉法人 市川市社会福祉協議会

昭和 26 年 6 月、社会福祉事業法（現社会福祉法）の施行により地域社会で住民主体の立場から福祉活動を行う非営利の民間組織として市川市社会福祉協議会が発足し、昭和 42 年 12 月 22 日、認可を得て社会福祉法人となった。

113.フードリボンプロジェクト

飲食店を利用するお客様から 1 つ 300 円で寄付されるフードリボンをこどもたちが使うことで、こどもたちがお腹を空かすことなく過ごせるよう地域でこどもたちを支える仕組みである。こどもたちが安心して食事できる場所を作るために市川市はこの取り組みを応援している。市内のフードリボンのお店は、ステッカーやのぼり旗が目印である。



(フードリボンプロジェクト)



～4章 子育て・福祉～

114. てるばサロン

てるばサロンとは、地域の方々が交流を図ったり、息抜きをしたりする集いの場のことを言う。市内 14 の「地区社会福祉協議会」の承認を受けた”サロン”を総称して「てるばサロン」と呼び、市川市社会福祉協議会と地域共生課でその運営支援を行っている。

115.市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

市川市では 3 年を一期として「市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を定め、介護サービスや施設整備を計画し介護保険料を定めるとともに、高齢者が心身の健康を維持し、生きがいや幸福感が向上することを目指している。なお、令和 6 年度から同計画に「市川市認知症施策推進計画」を位置付けており、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる地域の実現に向けて取り組んでいる。

116.急病診療所

昭和 52 年 4 月 2 日開設（平成 16 年 10 月より現在所在地に開設）し、急病患者の応急処置が目的であり、精密検査、入院、手術などが必要な場合は、当番病院へ搬送するなどの措置を講じ、市民の生命及び健康の保持に努めている。

117. 急病医療情報案内（あんしんホットダイヤル）

急な病気やケガの際に、どのような医療機関を選べばいいかわからない等で困っている市民に医療機関の案内を行うほか、医師、保健師等の専門職による健康又は医療等の各種相談を 24 時間年中無休で提供している。

平成 21 年 5 月 14 日開設、令和 5 年度相談件数 22,067 件（入電件数）



～4 章 子育て・福祉～

第 3 節 子育て・教育

118.地域子育て支援センター

妊婦や主に 0 歳～就学前の親子を対象に広場で自由に遊び、親同士の交流を図ることができるほか、育児相談・子育てに関する講習会の実施、地域の子育て関連情報の提供を、市内 11 カ所の地域子育て支援センターで実施している。

令和 5 年度延べ利用者数 60,912 人。

119.こども館

こども館は、18 歳までのすべてのこどもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、こどもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設である。

市内に 12 箇所あり、令和 5 年度は年間で延べ 205,920 人の利用があった。

120. 第 2 子以降の保育料無償化

少子化対策及び子育て世帯の定住促進を図るため、令和元年 10 月開始の幼児教育・保育の無償化に加え、同一世帯の第 2 子以降の子どもが保育所等の 0～2 歳児クラスに通園している場合、保育料の無償化等を行っている。

対象施設：保育所、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、事業所内保育事業所、簡易保育園（簡易保育園のみ 25,000 円を上限に加算）

開始時期：令和 5 年 10 月から

121.保育事業

保育を必要とする乳幼児を市立保育園 20 カ所（定員 2,275 名）、私立保育園 132 カ所（定員 9,369 名）、認定こども園 12 カ所（定員 1,843 名）、小規模保育事業 53 カ所（定員 949 名）、事業所内保育事業 1 カ所（定員 50 名）、家庭的保育事業 2 カ所（定員 10 名）、計 220 カ所（定員 14,496 名）で保育しており、待機児童は 0 となっている。（令和 6 年 6 月 1 日時点）

122.放課後保育クラブ

市川市の放課後保育クラブは、小学校の児童が放課後、保護者の保護を得られない状況である場合、その保護者に代わり、児童の生活指導を行うことを目的として、昭和 41 年 5 月市川小学校に開設以来、小学校余裕教室等に増設を行い、令和 6 年 4 月 1 日現在 133 のクラスで運営している。

123. 子どもの医療費助成

子どもの医療費助成制度は、市川市に住民登録があり健康保険に加入している、0 歳から高校生相当年齢（18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日）までのお子さんの健全な育成と保護者の経済的な負担の軽減のため、医療費の全部又は一部を助成している。

助成内容と自己負担金入院 1 日 300 円 通院 1 回 300 円 調剤無料。

124.給食費無償化

子どもの成長を社会全体で支える施策のひとつとして、子どもたちの安心で充実した食の環境を整える取り組みを推進するため、令和 5 年 1 月より学校給食費の無償化を実施している。

対象者:市立学校（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校）に通う児童生徒

125.市立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の児童・生徒数

市内には 38 の小学校、15 の中学校、1 つの義務教育学校及び 1 つの特別支援学校があり、令和 6 年 5 月 1 日現在のすべての生徒数は 31,339 人となる。

生徒数が一番多い小学校は鬼高小学校の 837 人となる。



～5 章 安心安全なまちづくり～

第 1 節 まちづくり

126.道路

市川市の道路は、国道 4 路線、県道 11 路線、市道 3,028 路線の合計 3,043 路線で、総距離（実延長）約 786km となっている。なお、国道 298 号については、国から路線延長が公表されていないため、国道の路線数および総距離（実延長）に含めていない。



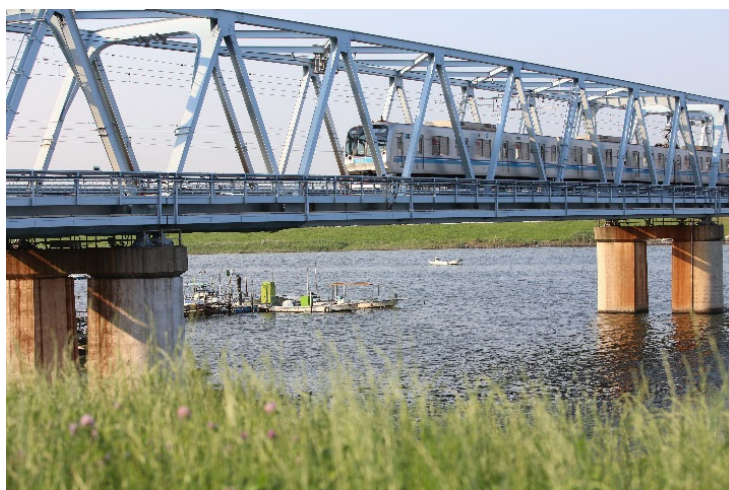
127. 都市計画道路

都市計画道路は、都市構造の骨格を形成するとともに、日常生活や産業活動のための交通機能、都市の発展を誘導する市街地形成機能、公共公益施設の収容及び良好な住環境を形成する等の空間機能などを有している。都市計画道路網は、幹線道路として機能している国道及び主要地方道をベースに有機的に連絡するように道路が配置され、全体として格子状の道路パターンを形成している。また、広域通過交通と地域内交通との分割を図り、効率よい交通ネットワークの実現に向け、事業の推進を図っている。

市川市の都市計画道路は昭和 15 年に最初の都市計画決定がされ、現在は、自動車専用道路が 4 路線、幹線街路が 38 路線の 42 路線、延長 120.24 km が都市計画決定されており、整備率は約 60%（約 72km）である。

128.鉄道

市川市内における鉄道は、中心部にＪＲ総武本線、京成本線、都営地下鉄新宿線、行徳地区に東京メトロ東西線、南部にＪＲ京葉線、大野・柏井地区にＪＲ武蔵野線、大町・北国分地区に北総線の７路線約 30.3 k m16 駅が整備されている。



(東西線)

129.バス

市川市には、京成バス、京成トランジットバスをはじめ５事業者の民間路線バスが運行されている。輸送人員は、昭和 41 年の 1 日当り 13 万 5 千人をピークに減少を続けていたものの、平成 9 年度辺りからは、ほぼ横這いの状態で推移していた。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響前（平成 30 年）と比較して輸送人員（総数）が約 10%程度減少しているが、令和 3 年度より増加しており、復調の兆しが見え始めた。



(市川市観光協会ラッピングバス 京成トランジットバス)

130. 公園

都市公園の整備状況は、424 箇所、面積 179.75ha を整備し、市民 1 人当りの公園面積 3.64 m²/人（墓園：10.0ha を含むと 3.84 m²/人）となっている。（国：10.8 m²/人、千葉県：7.1 m²/人）

また、民有地を含む緑の保全施策として、特別緑地保全地区 3 箇所、面積約 2ha、行徳近郊緑地特別保全地区 1 箇所、面積約 83ha、風致地区 5 地区、面積約 769ha、生産緑地地区 295 地区、面積約 83.53 ha、保存樹林 5 箇所、面積約 1.8ha、緑地協定 9 箇所、面積約 5.5ha により緑の保全を図っている。



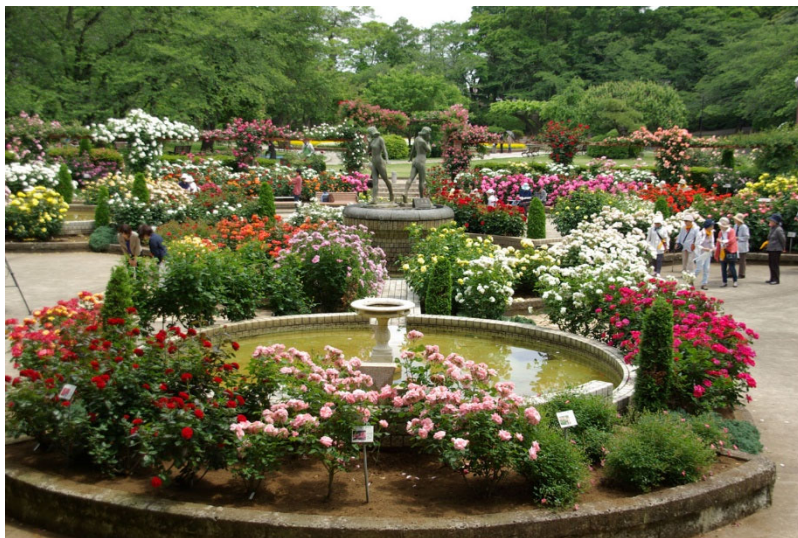
（大洲防災公園）



（広尾防災公園）

131. 市川市花と緑のまちづくり財団

（公財）市川市花と緑のまちづくり財団は、前身である財団法人市川市緑の基金から名称を改め、平成 25 年 4 月 1 日に設立された。広く市民その他の積極的な参加と協力により、緑地の保全及び緑化の推進を図り、もって健康で快適な潤いのある環境づくりに資することを目的として活動している。



（里見公園）

132.治水対策

市川市の治水対策は、昭和 56 年 10 月の台風 24 号による大水害を契機に、真間川流域及び旧行徳地域等の低地域の浸水を解消するため、河川改修計画と整合を図った「市川市雨水排水基本計画」を昭和 59 年度に策定した。

この計画は、時間雨量 50mm 対応に整備するもので、雨水幹線排水路の延長 229,177m を整備するものとしており、令和 5 年度末時点で 133,569m の整備が完了している（整備率 58.3%）。



（大柏川第一調節池緑地）

133. 行徳野鳥観察舎

令和 2 年 9 月 24 日、旧千葉県行徳野鳥観察舎の跡地に新たな施設として行徳野鳥観察舎（あいねすと）が一部開館し、同年 10 月 11 日に全面開館した。本施設は、歴史、文化、環境などの情報を発信するとともに、カフェを設置し気軽に休憩をとりながら野鳥をはじめ緑地の眺望等を楽しめる施設となっている。



（あいねすと）

134. 大洲防災公園

都市基盤整備公団（現在、独立行政法人「都市再生機構」）が平成 11 年 11 月に創設された「防災公園街区整備事業」で整備した公園である。

平常時は、憩いやレクリエーションなどを通じて住民に親しまれる公園として、また、災害時は一時避難場所や被災の前線における救援機能や輸送等の中継拠点機能を担う防災公園として整備し、市街地整備部分と併せて安全で快適な街づくりに努めている。

○災害時の機能

- ・ 避難広場（ヘリポートとしても活用可能）
- ・ 管理事務所兼備蓄倉庫
- ・ 耐震性飲料用貯水槽 100 m³
- ・ 物資積下し場
- ・ 非常用便槽 25 m³ 1 基 20 m³ 1 基（上部にブースを組み立てる方式）



（大洲防災公園）

135. 広尾防災公園

広尾地区周辺は、住宅が密集している上、住民一人当たりの都市公園や避難場所の面積も少ないことから、安全で快適な街づくりが課題となっていた。そこで、平常時は憩いやレクリエーションの場として住民に親しまれ、また、災害時は一時避難場所となる防災機能を備えた都市公園（約 3.7ha）として整備を進め、平成 22 年 3 月末に完了し、同年 4 月 1 日に開園した。

○災害時の機能

- ・ 健康の広場（ヘリの離着陸場・ドクターヘリも使用可能）
- ・ 管理事務所兼備蓄倉庫（鉄骨造 2 階建、延床面積 約 819 m²）
- ・ 耐震性飲料用貯水槽 120 m³
- ・ 非常用トイレ（和式用 60 穴、洋式用 8 穴、下水道直結方式、容量 60 m³）
- ・ 緊急船着場（千葉県により旧江戸川に。平成 27 年度に完成。）
- ・ つどいの広場（物資積み下ろし場として活用）

136.みどりの保全

市の北部は下総台地の西端に位置する標高約 20mの台地で、市の南部約 3 分の 2 は平坦な沖積低地となっている。まとまった山林は北部の台地上や、台地と低地の境界の斜面林のみに見られ、市の中央部から南部にかけては砂州上のクロマツ林や社寺林などにわずかに見られるにすぎない。

また、江戸川に面した松戸市境から里見公園を経て真間の弘法寺に至る斜面林など、南から南西向きの斜面林では断片的にスダジイ、タブノキを主体とする発達した照葉樹の極相林の片鱗が見られる。その他、比較的傾斜が緩やかなところの山林はイヌシデ、コナラ、クヌギ、シラカシ等を中心とする二次林となっており、スギ、ヒノキなどの経営林はほとんど見られず、山林の面積は約 121.5ha で市の面積の約 2%にあたる

137. 自転車対策

駅周辺における放置自転車対策として、自転車利用者の利便と駐輪秩序の確立を図るため、12 駅 1 バス停に自転車等駐車場 41 施設を整備し、令和 6 年 4 月 1 日現在で収容可能台数 30,190 台分を整備している。また、南行徳駅に歩道等自転車置場を 5 カ所・571 台分を整備している。



(市川市シェアサイクル事)

第 2 節 環境

138.ごみ

収集量、持込量及び集団資源回収量を合計したごみの総排出量は、近年減少傾向であり、前年度比では、総排出量の約 7 割を占める収集量は 3.6%減少したが、持込量は 1.1%増加した。なお、集団資源回収量については前年度から 5.2%減少し、資源物の収集量についても 4.7%減少した。

139.ごみ発生量

ごみ発生量の指標となる市民 1 人 1 日当たりの排出量について、平成 14 年度の 12 分別収集以降、減少傾向にあり、平成 26 年度以降は比較的大きく減少していた。令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化などから増加傾向にあったが、令和 4 年度には減少し、前年度と比較して 2.7%の減少となった。

140.ごみ情報のスマートフォンアプリの運用

環境負荷の少ない持続可能な社会の構築に向けた取り組み強化の必要性や、市川市におけるごみ処理の課題をふまえて、さらなるごみの減量・資源化に向けての啓発を行うにあたり、市民に対してごみ分別等の情報をわかりやすく簡単に提供するスマートフォンアプリを運用している。

当該スマートフォンアプリは、平成 28 年 10 月から運用開始。令和 5 年度アプリダウンロード数 12,493 件、累計数 108,312 件（令和 6 年 3 月末）。



141.公益財団法人 市川市清掃公社

昭和 50 年 6 月 1 日に発足し、市の委託を受けた一般廃棄物（し尿）の収集業務の他、浄化槽の清掃、保守点検業務なども行っている。

第3節 防災・防犯

142.市民マナー条例

市川市では、平成16年4月1日より「市川市市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例」（通称：市民マナー条例）を施行し、これまで市民のマナーやモラルの問題として取り扱ってきた。

歩行喫煙等について、基本的なルールを定めることで、健康と安全で清潔な生活環境の実現を図っている。



（マナーマン）



（マナリン）



（路上喫煙等の禁止事項の周知）

143.消防体制

令和 6 年 4 月 1 日現在で、1 局（6 課）4 消防署、7 出張所、職員数 516 人となっている。消防団にあっては、1 団本部 4 方面隊 23 個分団、団員数 322 人（女性団員 19 人含む）の体制により市民の生命・身体・財産の保護に努めている。



144. ちば北西部消防指令センター

市川市は、平成 25 年度から千葉県北西部の 6 市（市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市）による指令業務の共同運用を開始し、令和 2 年度から新たに 4 市（習志野市、柏市、八千代市、我孫子市）を加えた 10 市で、「災害通報の受信」、「出動指令」、「通信統制」及び「情報の収集伝達」の業務を松戸市中央消防署内に設置した「ちば北西部消防指令センター」で行い、その他の指令業務は、市川市消防局・東消防署合同庁舎内の指令課で行っている。

145.消防出動回数

令和 5 年度の出動回数は 5,191 回で、主なものとして火災 66 回、救助が 516 回となり、一番多いのは PA 連携による 3,623 回となっている。

※PA 連携救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動を行うことの総称。



146. 防災倉庫

災害対応のための物資や資機材を備蓄するため市内 14 か所に防災倉庫を設置している。

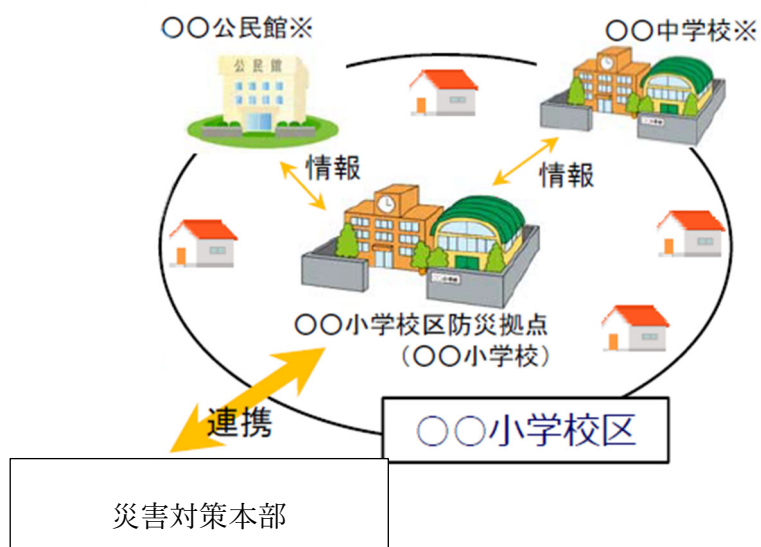


(防災倉庫)

147. 小学校区防災拠点

小学校区を単位として、市職員が地域住民と協力し、情報収集・発信、災害対策本部との連絡、避難所運営支援等の応急対策活動を行う拠点である。

震度 5 弱以上の地震が発生したときに、予め指名された近傍に居住する市職員と地元自治会等により構成される小学校区防災拠点協議会が参集し、施設の安全確認を行い、必要に応じて避難所を開設する。



(小学校区防災拠点 体制図)

148. 市川市災害ボランティアセンター

災害ボランティアの受入れのために、災害対策本部から独立した機関として計画された組織である。生涯学習センター内に設置し、災害ボランティアの受入れや活動の調整等を行う。災害時、市川市社会福祉協議会が市川災害ボランティアネットワーク、市川市ボランティア協会等と協力して外部からのボランティアを円滑に受け入れることができるよう、平常時から協力体制を強化している。

149. 医療救護所

市川市域で震度 6 弱の地震が発生した場合は、医療本部の指示により、6 箇所の医療救護所を開設するものとし、医療救護所の開設担当職員は、直ちにあらかじめ定められた医療救護所に参集・配置し、医療救護所の開設に努めるものとする。なお、震度 6 強以上の地震の際は、医療救護所を自動開設する。



(医療救護所訓練の様子)

150. 自主（先行開設）避難所

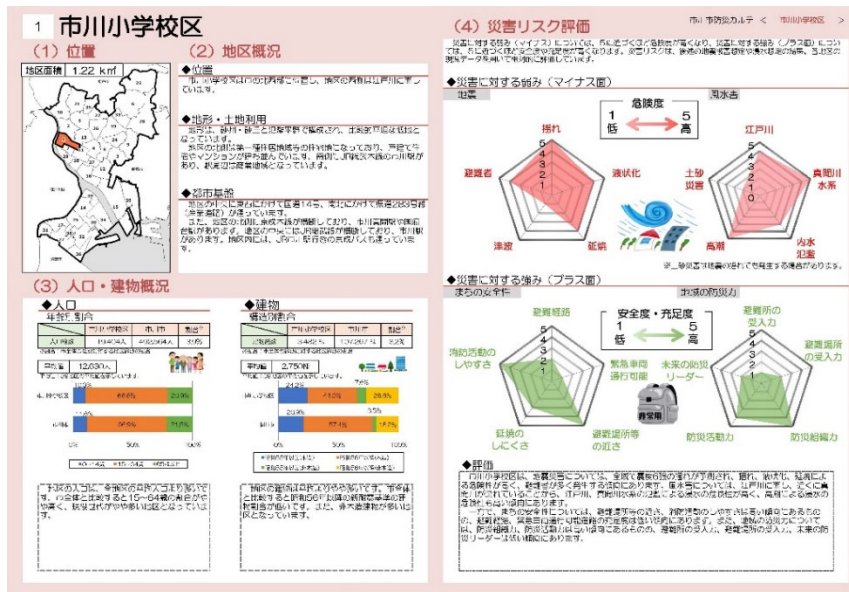
自主避難所は、大雨や台風の接近が予測される場合などに、余裕をもって避難することができる施設である。雨が強くなる前など、市が避難情報を発令する前に状況に応じて開設する。自主避難所には、以下の 6 施設がある。

(大野公民館、国府台スポーツセンター、東部公民館、勤労福祉センター本館、信篤公民館、行徳公民館)

151. 防災カルテ

防災カルテは地区の特性や災害リスクを小学校区ごとにまとめたもので、防災上の課題を理解し、家庭や地域でできる防災対策を考えるための資料である。

内容としては、地区の災害に対する弱み、強みを評価したレーダーチャート、地区内の避難所、避難場所などの防災施設を掲載しているほか、避難先や危険箇所等を書き込んでオリジナルマップを作る防災マップがある。



(防災カルテ)



(防犯意識の更なる向上を目指すキャラクター いちパトくん)

いちかわ検定（上級）公式テキスト

令和7年2月17日 発行

編集・発行 市川市経済観光部観光振興課

〒272-8501 市川市八幡 1-1-1